

第95回 | 株 主 通 信

2019年4月1日～2020年3月31日





代表取締役社長 **横田 隆**

株主の皆様には、日頃よりコニシグループにご支援いただき、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第95回定時株主総会招集ご通知をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

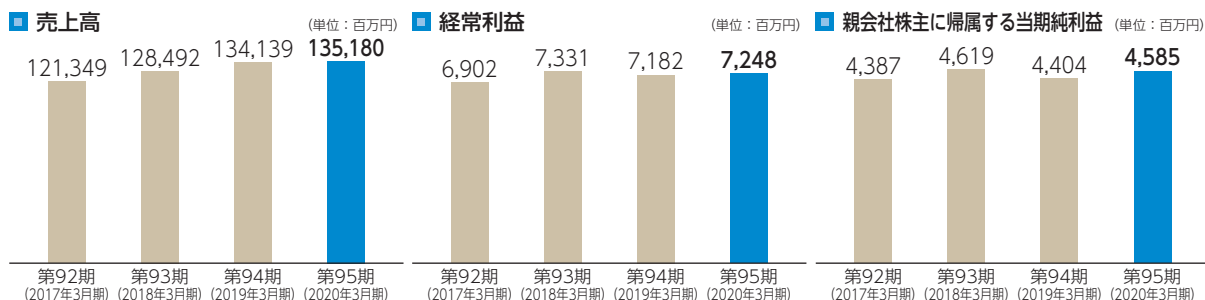
当社は2020年11月に創業150周年を迎えます。創業以来、今日に至るまで、ご支援、ご愛顧いただいた皆様方には心より御礼申し上げます。

当社の歩みは、1870年創業の薬種商から始まります。その後、洋酒や工業用アルコールの製造販売、合成接着剤「ボンド」の開発、そして社会インフラの維持・補修事業など、お客様のニーズや課題に誠実に向き合い、その実現や解決のために妥協することなく挑戦を続けてきました。

コニシにとって、「つなげる」は多様な意味を持ちます。

- 一つは、様々なモノをくっつけること。
- 一つは、人やモノや情報をつなげること。
- 一つは、様々なモノを次代へ、より長きにわたって継いでいくこと。
- 一つは、お客様の思いや夢を形として具体化すること。

150年のその先も、「つなげる」ことにどこよりもこだわり、新たな価値を創造し続けていきます。株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



事業区分別の状況

【ボンド】

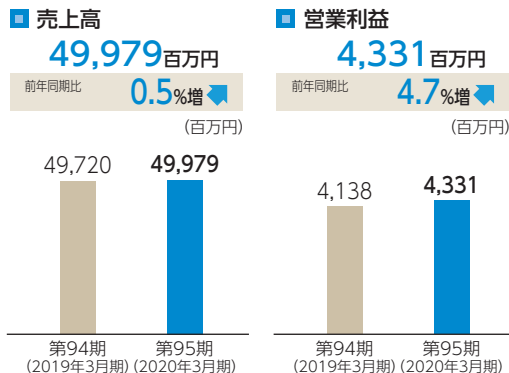
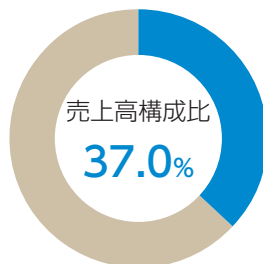
一般家庭用分野においては、100円均一ショップ、ホームセンターの販売ルートでの売上は堅調に推移しましたが、コンビニエンスストアの販売ルートでの売上は減少しました。また、手芸ルート向けの新製品「ボンド 裁ほう上手スティック」の販売が好調に推移しました。

住関連分野においては、新設住宅着工戸数が弱含みで推移しておりますが、内装工事用接着剤およびタイル施工用接着剤の売上は好調に推移し増加しました。また、補修用シーリング材の売上も好調に推移し増加しました。

産業資材分野においては、自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤の売上が増加しました。

以上の結果、売上高は499億79百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は43億31百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

ボンド



[土木建設]

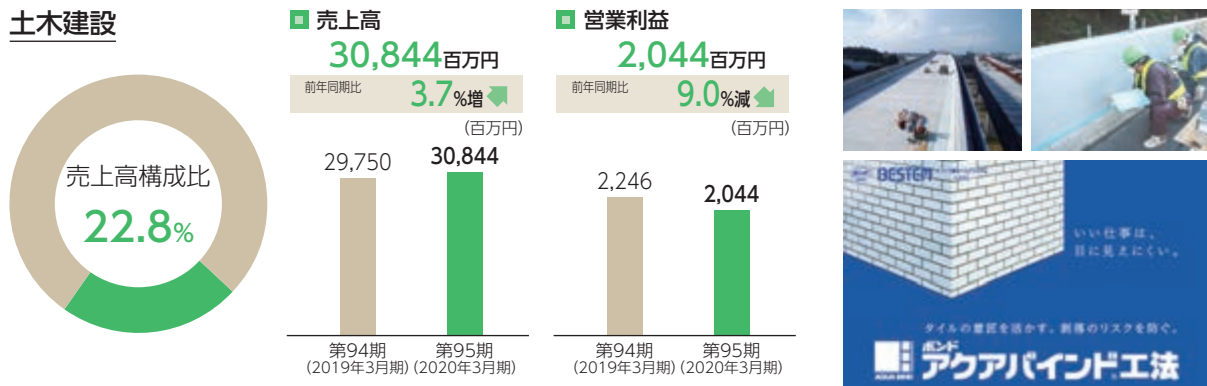
建築分野においては、外壁はく落防止工法に使用する材料、建築用シーリング材が好調に推移し、売上が増加しました。

土木分野においては、表面保護・はく落防止工法は低調に推移しましたが、連続繊維シート補強工法等の補強工法が好調に推移し、売上が増加しました。

土木建設工事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が堅調に推移しておりボンドエンジニアリング(株)の売上は増加しました。一方、近畿鉄筋コンクリート(株)の売上および営業利益は大きく減少しました。

以上の結果、売上高308億44百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は20億44百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

土木建設



[化成品]

化学工業分野においては、樹脂原料の販売が低調に推移したものの、エタノール関連商材の売上が増加し、売上は微増となりました。

電子電機分野においては、半導体関連商材およびスマートフォン関連商材が低調に推移し、売上は減少しました。

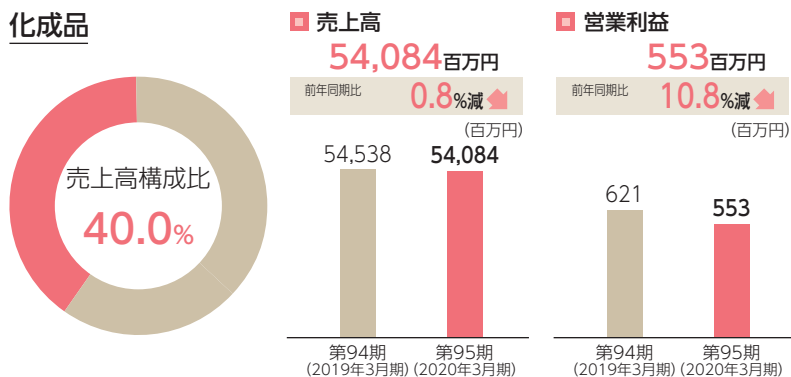
自動車分野においては、電子部品に使用される商材が好調に推移し、売上は大きく増加しました。

塗料分野においては、建築用塗料向け商材が好調に推移しましたが、自動車補修用塗料向け商材およびその他塗料向け商材が低調に推移し、売上は減少しました。

丸安産業(株)は、半導体製造に使用される商材およびコンデンサに使用される商材が低調に推移し、売上および営業利益は大きく減少しました。

以上の結果、売上高540億84百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は5億53百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

化成品



[その他]

その他は不動産賃貸業であり、2019年2月に北浜T N Kビル(現北浜コニシビル)を自社ビル化したことにより賃貸収益が増加しました。その結果、売上高2億71百万円(前年同期比108.4%増)、営業利益は2億19百万円(前年同期比917.3%増)となりました。

創業150周年 コニシのあゆみ

コニシは大阪の道修町で1870年に薬種問屋として創業したのが始まりで
2020年11月に創業150周年を迎えることとなりました。

明治から令和までのコニシ150年の歴史をご紹介します。

1870 (明治3年)

創業。初代小西儀助が大
阪道修町にて「小西屋」の
屋号で薬種業を営む

商売に行き詰まるが2代
目小西儀助が業刻みで回
復。その後、洋酒やビール
「朝日麦酒」の製造を開始



1914 (大正3年)

合資会社小西商店を設立

工業用アルコールの販売
が拡大し、「アルコールの
小西」として名が高まる



1952 (昭和27年)

合成接着剤「ボンド」
販売開始



1957 (昭和32年)

国内初の家庭用
「ボンド木工用」発売



1976 (昭和51年)

コニシ株式会社に
社名変更

1978 (昭和53年)

大阪商工会議所より
100年以上企業として
顕彰される

創業

「ボンド」の誕生と 戦後発展

経営の近代化

1888 (明治21年)

2代目小西儀助が「赤門
印葡萄酒」の製造販売
を開始



1903 (明治36年)

現在の旧小西家住宅が
完成



1925 (大正14年)

株式会社小西儀助商店
に改組

1964 (昭和39年)

東京工場が業界初の酢ビ
系木工用JIS表示許可工場
となる

1969 (昭和44年)

接着剤市場で業界首位を
獲得

1973 (昭和48年)

滋賀工場を設立

1981 (昭和56年)

大阪研究所および
浦和研究所を開設

1986 (昭和61年)

栃木工場を設立





1994 (平成6年)

大阪証券取引所市場
第二部上場

大阪本社新館
(現 北浜コシビル)竣工



2001 (平成13年)

旧小西家住宅、
重要文化財に指定

2002 (平成14年)

国内全工場で
環境マネジメント
ISO14001認証を取得

2003 (平成15年)

大阪・浦和研究所で
環境マネジメント
ISO14001認証を取得



2012 (平成24年)

品質システム審査登録制度
ISO9001自己適合宣言

栃木物流センター開設

2014 (平成26年)

滋賀物流センター開設



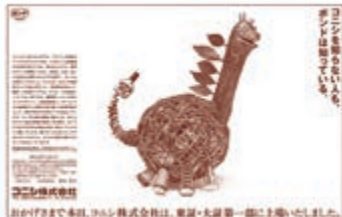
株式上場

新たな発展へ

1997 (平成9年)

東京証券取引所市場
第一部上場

大阪証券取引所市場
第一部上場



2007 (平成19年)

一般家庭用「ボンド木工用」
が立体商標登録

2009 (平成21年)

「ボンド ウルトラ多用途®S・U」
が日本接着学会技術賞を受賞

2010 (平成22年)

基礎研究所(現材料科学
研究所)を開設

一般家庭用「ボンド木工用」が「2010年度グッド
デザイン・ロングライフ
デザイン賞」を受賞



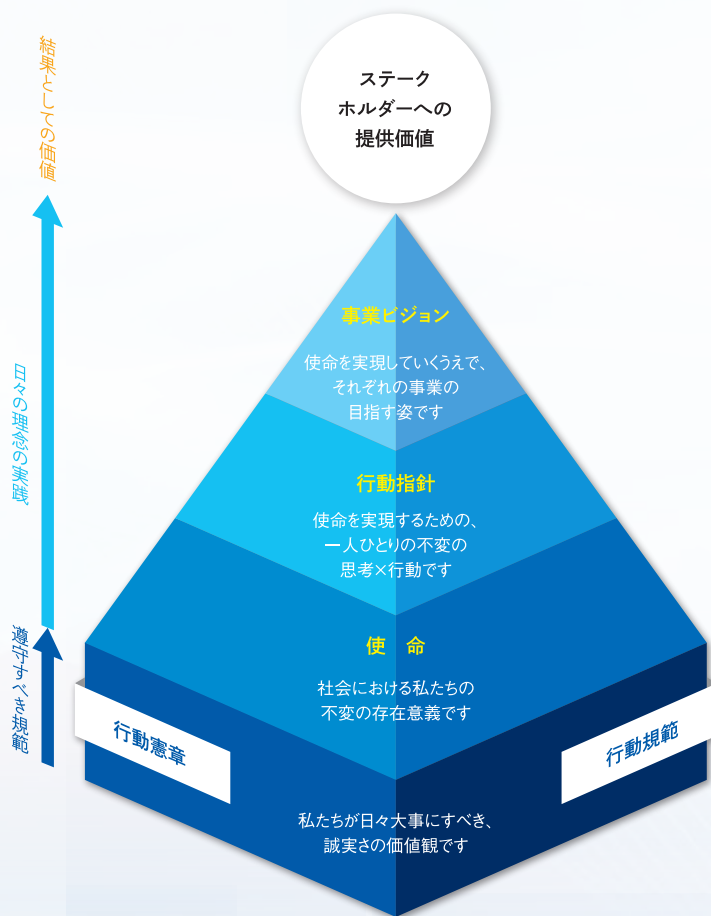
2019 (令和元年)

関東支社を設立



コニシグループ企業理念の策定

創業150周年の節目を迎えるにあたり、「コニシグループ企業理念」を策定いたしました。この理念は、コニシがこれまで培ってきた企業姿勢であります「誠実」、「挑戦」を踏襲し、そして多角化してきた事業の中においても共通ワードである「つなげる」をキーワードに明文化いたしました。新たな企業理念とともに、将来の更なる発展をめざしてまいります。



コニシグループ企業理念

〔 使 命 〕

誠実な行動とチャレンジ精神で、
多様な「つなげる」にこだわり、
新たな価値を創造することで、
関わる全ての人々に安心と笑顔を提供します

〔 行動指針 〕

- ① 既成概念に捉われずにチャレンジし、“未来のコニシ”を創造します
- ② 仕事にこだわりを持ち、“コニシ品質”を作り込みます
- ③ お客様に寄り添い、お客様に誇れる仕事をします
- ④ 情報・知識・経験を仲間に共有し、“ALLコニシ”の意識で行動します
- ⑤ 自ら考え行動し、“プロフェSSIONAL”としての仕事をします
- ⑥ 何事も成長の機会として考え、仲間と共に切磋琢磨していきます

コニシグループは、地球、社会、
そして、関わる全ての人々のベストパートナーとして、
安心とその先にある笑顔を提供し続けることを存在意義としています。

コニシグループにとって、「つなげる」は多様な意味を持ちます。

- 一つは、様々なモノをくっつけること。
- 一つは、人やモノや情報をつなげること。
- 一つは、様々なモノを次代へ、より長きにわたって継いでいくこと。
- 一つは、お客様の思いや夢を形として具体化すること。

「つなげる」ことにどこよりもこだわり、新たな価値を創造し続けていきます。

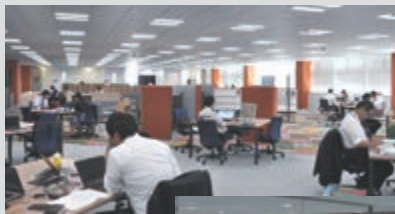
そして、創業以来、コニシグループ発展の原動力となったのは、
お客様のニーズや課題に誠実に向き合い、その実現や解決のために、
妥協することのない挑戦を続けてきた社員一人ひとりの存在です。
これからも、社員一人ひとりの“誠実な行動とチャレンジ精神”で、
コニシグループへの信頼や未来への期待を紡ぎあげていきます。

TOPICS

関東支社完成

浦和工場跡地に建設を進めていました新社屋「関東支社」が2019年9月に完成しました。関東支社は地上4階建て。正面外装はガラス張りで、内部は1階から4階までをつなぐ階段が吹き抜けとなっており、明るく開放的な設計に。また、フリーアドレス制を導入しており、営業担当者は固定席を持たず自由に座り、他部門や他部署の担当者間で交流を深め情報交換を行っています。FAX受注も電子化によりペーパーレス化が進みました。そして同じ敷地内には研究所が隣接しており、営業と研究部門の連携強化による製品開発のスピード化も図っています。

新たな働き方の導入によりこれまで以上に効率化を意識して事業を進めて参ります。



東京サテライトオフィス開設

2020年1月27日より、「東京サテライトオフィス」を開設しました。事務所は重要文化財である明治生命館（千代田区丸の内）の一室で、関係会社であるボンドケミカル商事㈱とともに入居しています。執務室だけではなくTV会議が可能な会議室もあり、また立地も東京駅の近くでとても便利です。東京サテライトオフィスの開設により、都内での効率的な営業活動を図って参ります。



危険物自動ラック倉庫完成

2019年9月に栃木工場内に「危険物自動ラック倉庫」が完成しました。建屋の高さは20m、パレットは1,650枚収納可能です。パレットの出し入れをクレーンが自動で行うため利便性が向上し、さらに荷捌きテントも併設することにより、入出荷作業の短縮が可能となりました。自動式の倉庫は、「滋賀コンテナ自動ラック倉庫（2018年建設）」に次いで二つ目となります。



事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06 (6228) 2811

東京本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3 TEL 03 (5259) 5711



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSC®
の認証紙と水なし印刷方式を採用
しています。